

南相馬

minamisoma

NPO 法人あさがお立寄り+鹿島区西町第一応急仮設住宅・集会室「クリスマスリース作成 WS&おちゃっ子」開催+滝沢くるみちゃん家族と会食 (NPO 法人えんどうまめ) + 南相馬ソーラー・アグリパーク、小高区村上地区:災害・環境支援団体 Nine と会談、小高区加藤理容所立寄り他、佐藤君の案内で「奇跡の一本松@鹿島区」等に立寄り 2013.10.18-20

多くの出会いがあり、懐かしい再会があり、たくさんの「笑顔」を確認することができた。しかし、長い仮設暮らし、不安やストレスが蔓延する生活に諦め、疲労等が押し掛かり心身の状態に不安を感じずにはいけない。人間の感情はそう簡単に BEST な状況へとは進まないであろうし、そこを我慢し続けストレスを溜めこむのも本末転倒である。我々にできることを模索しながらのプロジェクトだ。



米沢

yonezawa

米沢交流プロジェクト／ふくしまっ子ちょっと早いクリスマスパーティー。2013.11.23

子どもたちがパーティー会場に入ってくるなり、走り回り大歓声に包まれ、2ヶ月ぶりの米沢が一気ににぎやかになった。子どもたちの笑顔を見ると、こちらまで幸せな気持ちになる。小さな子どもをかかえた環境下で、福島に戻る人、戻らない人、それぞれの気持ちを抱えている。どの環境、状況にあっても「幸せ」でいて欲しい。それだけである。人は不幸になってはいけない。現状の中で最大限に幸せが感じられるよう、微力ながらも我々もサポート (共助) しあっていければと思う。



双葉町

旧騎西高校避難所

futaba

双葉町交流プロジェクト Vol.10 / 埼玉県加須市の旧騎西高校 (福島県双葉町避難所) 交流訪問。2013.11.3

住民たちの憩いの場所である「生徒ホール」を含めたこの避難所も、年内閉鎖の話がある中での訪問となった。ここを出た後、最善の生活への改善となればいいが、住民間のつながりがバラバラに切り離されていくようにも見える。この3年近くに及ぶ避難生活を更に窮地に追い込んでいくものになるのではないかと感じた。国や自治体、住民・仲間として、それぞれのできることを、それぞれにしかできないことを、誰かの独断とか、「体裁」とか「企み」「嘘」を抜きにして真剣に考え、行動していきたい。



石巻

ishinomaki

「石巻クリスマスPJ2013」
2013.12.13-16

2011年から引き続き3度目のクリスマスプロジェクト。約30名の子どもたちが集まり、賑やかなパーティーとなった。変わらない元気と、成長、そして新たに参加をした子どもたちとの出会い。この日は、ソフトバンク・チャリティホワイトの取材が入り「ありがとう (いきものがかり)」の大合唱をおこなった。練習から皆が大声で上手に歌い、取材カメラにも元気に答えている姿に、大人はびっくりした。笑顔で沢山もらった1日だ。



各プロジェクトを実行するには、実は見えない部分で多くの人たちの下支えがある。小さな心づかいや想いによって、今日までの活動は続けられてきた。

VOICE:1

震災の後、笑顔に繋がるお手伝いがしたいと思い参加をしました。実際にお会いして気持ちを近づけてみると、大変な状況の中で前向きに頑張っている姿に心を動かされて元気をもらいました。今後も微力ながら応援を続けていきたいと思っています。(菅尾 陽子さん)

ケーキトッピングのための、手焼きクッキーは、可愛い形が沢山。



いつも応援ありがとう!

わたしたちもエールを送ります。

VOICE:3

事務局のご近所の豊川定江さんは、いつも沢山の作品を提供してくれる。「東北に行く時やバザーの時に使って」と、千代紙のコースターや手編みの小物を渡してくれる。定江さんは、現役で働いている来年80歳の女性。彼女のビデオレターを南相馬の仮設で流したら、「がんばってくださいねー」という呼びかけに、南相馬のおばあちゃんたちが「はい」と笑いながら答えていた。

南相馬と葛飾がつながる瞬間。ビデオレターでエールの交換。



VOICE:2

3.11。ただただテレビ画面に向かい、茫然とし、何をどうすればいいのかわからなかった時、少しでも何かができればと参加表明。実際の活動や現地に行くことは出来ませんが、これからも微力でも、何かできれば嬉しいです。私に可能な事をやらせてくださる事に感謝です。少しでも被災地の方々が心安らぐ時間が過ごせることを祈っています。(甲田瑞枝さん / 4seasons cafe hannari)

葛飾より

子どもたちはケーキの飾りつけが大好き。ふわふわのケーキが作品になっていきます。



special thanks!

VOICE:4

仮設住宅全戸分、あるいは避難所の全員分の漬物を寄付して下さる柴又「丸仁 (漬物)」。「当たり前のことやっていると。特別なことは何もしていない。だって、全然復興してないじゃないですか。震災前、東北の人達はずっと柴又に来てくれていた。いつまた大地震が起きるかわからない。立場が逆になることもある。南相馬のおばあちゃんたちが「はい」と笑いながら答えていた。」

仮設集会所でお土産に、手渡し、来れない方には郵送まで届けます。

